

## 般若心経 最強の262文字

### 三蔵法師

般若心経(正式名:般若波羅蜜多心経 はんにゃはらみつたしんぎょう)は、「色即是空」の文言でおなじみの著名な経典です。原文は、古代インド語のサンスクリット語で、日本に広く伝わっているのは玄奘三蔵訳とされる漢訳です。玄奘三蔵とは西遊記で知られる三蔵法師のことで、実在の人物です。玄奘は修行を重ねるうちに、中国の仏典や高僧の教えに懐疑を抱きました。そこで天竺(インド)におもむき教義の原典に接し、かの地の高僧論師に直接の解義を得るしかないと思い立ちました。玄奘は決心して西暦629年27歳の時、密出国します。玄奘の旅は、草木も水もない灼熱、砂嵐が吹きつけるタクラマカン砂漠を歩き、雪と氷にとざされた厳寒の天山山脈を越え、時に盗賊にも襲われる苛酷な道のりでした。三年後に、ようやくインドにたどり着き、中インドのナーランダール寺院で戒賢(かいけん)論師に師事して唯識教学\*を学び、インド各地の仏跡を訪ね歩きました。

西遊記では天竺にたどり着いた話で完結していますが、実際には中国に膨大な経典を持ち帰り、その翻訳に余生の全てを捧げました。玄奘自身は亡くなるまでに経典全体の約3分の1までしか翻訳を進められませんでした。それでも彼がスタッフと共に生前に完成させた経典の翻訳数は、中核とされる『大般若経』16部600巻を含め76部1347巻(漢字にして約1100万字)にも及んでいます。

\* 瑜伽行唯識学派:阿羅耶識(深層意識)もまた空とする。東アジアには唐時代に玄奘(三蔵法師)の仏典請来により体系がもたらされ、唯識を元に法相宗が立てられた。日本へは奈良時代に伝来した。興福寺、薬師寺に伝わっている。

### 480000字を262文字に凝縮

『般若心経』は600巻480万字に及ぶ『大般若波羅蜜多経』の内容を、僅か二百数十字に凝縮したもののですが、末尾には次のような呪文が付加されています。「羯帝羯帝波羅羯帝(ぎゃていぎゃていはらぎゃてい)波羅僧羯帝(はらそうぎゃてい)」この部分は、サンスクリット語原文を漢字で音写(原文の発音をそのまま漢字に置き換え写すこと)したものです。わかりやすく言うと漢字で表したオノマトペ(擬態語、擬音語)のようなものです。この漢字文は訳なし、もしくは「往け、往け、彼の岸へ」と訳しますが原語と結びつく直接的な意味はありません。

「ぎゃていぎゃてい…」は、魔除けの呪文としての意義役割があるとされています。その由来は…『玄奘は天竺への旅の始めに、ある貧しく病弱な老人に遭遇し食事などを施します。すると、その老人は「ぎゃていぎゃていはらぎゃてい はらそうぎゃてい」という呪文を唱えると、悪霊や災難から守ってくれると教えてくれました。』という話に依ります。

### 般若心経と耳なし芳一

耳なし芳一のお話…体に書かれたお経が、芳一を怨霊から守ってくれましたが、そのお経は般若心経。…「ぎゃていぎゃていはらぎゃてい」が平家の怨霊を取り払ってくれました。さらに般若心経は、「色即是空…色(形あるもの)は空(存在しない)である」と書かれた経典であり、体には「存在しない」と記されているがゆえに、怨霊には芳一の姿が見えなかったのです。

### ジョンレノンと松尾芭蕉

般若心経の英訳は「Heart Sutra(心・心臓のお経)」。ジョンレノンやスティーブジョブズも多大な影響を受けて心の拠所にしました。修飾的な表現を排し削ぎ落としていく禅や俳句の思想は、ジョ

ンの生き方や作品に強い影響を与えました。レノンの曲『Imagine (1971)』は、「天国も地獄も、国(国境)や宗教もない。今、ここがあるだけ」…無と空を唱えて、その世界観をよく表現しています。同年の来日時には、「俳句は僕が今まで読んだ詩の形式の中で最も美しいものだ。僕の作品も今後はより短く、より簡潔になっていくだろう。」とのコメントを残しています。他にも、「Across The Universe (1968)」は松尾芭蕉の俳句に影響を受けたとされ、「Guru Deva Om～」の一節は「神に感謝」の意味です。「Julia (1968)」も簡潔な歌詞でまとめられています。「I Want You(1969)」はオノ・ヨーコに捧げた歌で、禅的な表現に磨きがかかります。「Because (1969)」では、「強い風が吹くから心まで吹き飛んでしまう 空が青いから 泣きたくなる」と唄い、「Two Minutes Silence(1969)」は「2分間の沈黙」という題で「無」を表現しています。「Love(1970)」は 時間の概念を取り去った禅問答というべき歌です。さらに「Nutopian International Anthem(1971)」では、6秒間の無音状態を入れて、時空と無を表現するなど前衛的な感じもします。こうしたジョンの変化は、64年頃からみられるようになりましたが、批評家や一部のファンの間では才能が枯渇したと揶揄しました。

「ジョン・レノン総特集KAWADE夢ムック」(河出書房新社)「ジョンが芭蕉に出会った日」から

湯島の古道具屋「羽黒洞」の店主・木村東介は、当初ジョンとヨーコのことを「ちょっとウザイ客だな」と思います。高価な浮世絵を次々と買って行くジョンが、スーパースターであることなどつゆほども知りません。「よい眼を持っている客なのか、はたまた頭がおかしいのか？」と疑います。芭蕉の「古池や～」の短冊を見つけてたとたん、飛び上がり大事そうに抱き抱えるジョンを見て、「あれっ？」と思います。するとジョンがこう言います。「私がこれを買って海外へ持って行くことを、どうか嘆かないでくれ。私はこの芭蕉の句のために、ロンドンに帰ったら日本の家建て、日本の茶席をつくり、日本の庭をつくり、日本の茶を飲み、そして床の間にこの軸を掛けて、日本人の心になってこの芭蕉を朝・夕見て楽しむから。どうか同じ日本人に売ったものと思って嘆かないでくれ」と話しかけます。この言葉を聞いた木村東介は「嬉しかったですねえ。いい人が買ってくれた」と思ったそうです。「私の生涯で最も共鳴してくれた人が、元ビートルズのジョンだった」と述べています。その後、木村東介はジョンとヨーコを歌舞伎に連れて行くなど、交友が深まっていきました。

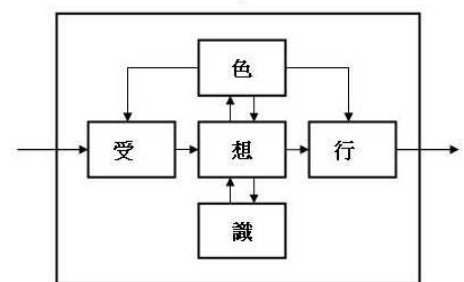
## 科学や芸術との相関

仏教では人は5つの要素の集まりで成り立っているとされています。それを「五蘊」と言い、「色、受、想、行、識」で構成されています。「色」は肉体(または物質)で、あとの4つ「受、想、行、識」は心の働きです。「受」は事物を感受すること、「想」は事物を思い描くこと、「行」は意志をもつこと、「識」は識別

・判断することです。「五蘊皆空」は、五つの蘊は全て「空(実体なく存在するもの)」という意味です。そして「色即是空」は、「色(肉体や物質)」は「空」という意味です。

満開の桜も僅か数日で散ってしまいます。昔の人達は、このような自然現象の一つひとつを独立した別の現象と見ていました。やがて「この移ろいゆく世界には何か法則があるのではないか？」…全ての現象を奥から見通し、ひとつの法則に集約していこうという人達が現われました。宗教家と科学者です。そして追究がどんどん加速していくと「万物の始まりを表すたったひとつの法則に行きつく

五蘊



のだろうか？」という問題につき当たりました。その答えが「空」や「万物（神）の数式」です。

空即是色…全ては移ろいゆくからこそ美しい。俳句を詠むという行為は、「流れる時間の一瞬を切り取ってつかまえること」です。連続したものを切り取って表現する…それが芸術であり、世界を司っている法則を切り取って世に出す…それが科学です。例えば「万有引力(の法則)」は、全ての物(万有)にある見えない引きつける力(引力)であって、見えないけれど存在するもの…つまり「空」の世界でもあるわけです。『2012年ついに解き明かされました。万物の始まりと存在を表す数式が、理論的にも実際にも存在することが証明されたのです。』…1500年後にようやく科学は追いつきつつあるようです。

「空」は宇宙の彼方であって、身近な日常にも存在する…万有性・万物性・連続性をもって現象を捉える時、宗教家と科学者、芸術家は同じものを追い求めてきたのでしょうか。

## 無

般若心経には「無」の字が21箇所も書かれています。無色 無受想行識無眼耳鼻舌身意 無色声香味触法 … 「無」は「何も存在しない」という意味ですから、大変わかりやすいです。ここでは、人の思い込みやこだわり、決めごと等を全て捨て去る、無しにするということです。「無」は人が背負うものやしがらみを全て解き放つという救いの意味を含む字です。では何故21回も「無」を使うのでしょうか。それは、万人にわかりやすく丁寧に伝えるためです。漢字を読めない庶民の間にも、絵心経などを通してその教えは広まりました。

### <絵心経>

字の読めなかった庶民のために般若心経の文言を絵で表現した。ニーズは高かった。

☆「まか・はんにや・はら・みつた」

1. 釜をひっくり返してまか=摩訶
2. 般若の面=般若
3. 腹で「はら」=波羅
4. 箕で「み」→「みつ」蜜



## 最強の262文字と17文字

☆万物を「空」として捉え、最新の科学（量子物理学や宇宙論）をも凌駕している。

☆「空」という奥深さに加え、「無」という幅広さも備え、存在や生き方に言及している。

☆凝縮の262文字（般若心経）…『大般若波羅蜜多經』600巻4800000字の説法を262字で表現。

☆究極に研ぎ澄ました17文字（俳句）…五・七・五の拍による言葉の調べ（韻律）と「季語」と「切れ」によって、心のなかの場景(心象)を大きく広げている。

ここに最強の262文字と17文字が浮かび上がってきます。

さて、ジョンレノンが唄った歌の題名が何故『Imagine』なのかは、もうおわかりだと思います。イマジン=概念=空というわけです。きっとレノンは深い願いをこめて、世界の人々に贈る自由と平和のメッセージとしてこの歌を唄ったのでしょう。

参考資料:100分で名著「般若心経」(NHK) Wikipedia「般若心経」「玄奘三蔵」 「Ai〜ジョン・レノンが見た日本」(オノ・ヨーコ)ちくま文庫)